

もりもりの探究冒険記⑤

～覚醒！4つのデジタルスキルと情報ダンジョン編～



この先の『情報ダンジョン』を突破するには、適切なスキルアイテムが必要だ！

うーん…宝箱の場所は、地図ではもうすぐだと
思うんだけど…

探究マップでは
お宝はこの辺りって…

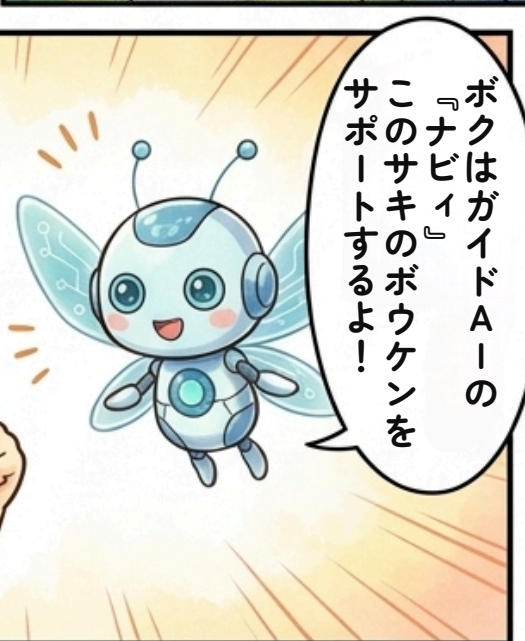


あつた！
宝箱を発見！

ピカーッ



これが、
『情報属性』4つの
スキルアイテム！



ボクはガイドAの
『ナビィ』
このサキのボウケンを
サポートするよ！



頼りにしてるよ
ナビィ！
4つのスキルアイテムに、
Aのサポート。よし、
準備バッチリだ！



正確なキーボード入力と
クリックで、扉のロック
を解除するんだな！

スキル
情報技術の基本操作



まずは『デジタル
フィットグローブ』を
装備！

◆『デジタルフィットグローブ』
タイピングやクリックなどの
基本操作を正確に行い、倫理
観を持ってデジタルでの表現
力を高める魔法の手袋



うわっ！

名前や写真を何も
考えずに入れるのは
危ないな。
ここはニックネーム
でもいいよね。



タイピングは正確に、
ホームポジションで
スムーズに入力。

カタカタカタ
カタカタカタ

カタカタ



基本操作だけじゃなく、
個人情報に気をつける
リテラシーも大事だね！

怪しい場所では、
なさそうだけど、
初めてのところだし
慎重に...

Cancel



カチャツ

個人が特定されない
パーソナル情報の入力と
リス博士から聞いてた
パスワードで扉は解除できた！
基本操作スキル、
レベルアップ！



次は『魔法のタブレット』
スキル…情報技術の活用！



情報も多すぎて
迷うよ…

どの道が安全
なんだろう？

◆『魔法のタブレット』

必要な情報を集めて比べ、整理しながら、学習や課題解決に効果的に生かすための道具



本当かな？

うーん…
複数のキーワードで
検索して比べてみよう！

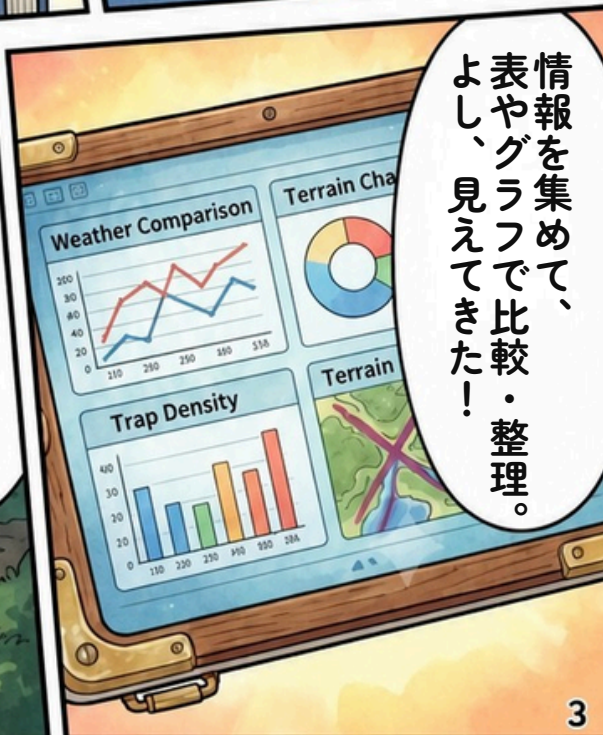


コッチのミチが
100%アンゼン！



最後は自分で判断
することが大事！

データを分析したら
真ん中の道がよさそう。
AIも間違えることがあるんだ！



情報を集めて、
表やグラフで比較・整理。
よし、見えてきた！



リス博士の豆知識

AIが、間違った情報を本当のこのように答えてしまうことを「ハルシネーション」というんじゃ。最後は自分で（人間が）判断することを忘れずに！

続いてはこれ！行け！
『セキュリティナビランタン』
スキル：情報技術の
適切な取扱い

◆『セキュリティナビランタン』

情報の真偽やマナー、リスク
を見極め、安全で責任ある行
動へ導くためのランタン

うわっ、急に霧が……！
あやしいサイトの
罠だ！

情報の真偽とリスクを
照らし出して！フェイク
ニュースを見破れ！

ネットやAIのジョウホウ
にもマチガイがあるから、
元ジョウホウもタシカメヨウ！

著作権に気をつける！
人のものを使う時は
引用も示そう！

なるほど！
情報の見極め方がわかってきた！
安全なルールとマナー
を守って正しく使おう！





うわあ、
なんだこれは!?
ごちゃまぜな情報!?

情報過多の
デジタル・バベル
です!



本当の試練は
ここからだ!

4つの情報属性の
スキルアイテムを
ひと通り使ったぞ!



ソクテイフノウ!
シジをクダサイ!



嘘と本当が混ざった
情報攻撃!?
どうすれば...

ドザーッ



4つのアイテムの
スキルコンボで
突破するぞ!



ここであせっちゃ
ダメだ!

Aーにすべて頼るんじゃなく、
自分の頭でしっかり考える!





【操作と活用】
複数のアプリと検索を
組み合わせ、最適な
資料をまとめる！



「吟味と理解」
真偽を見極め、
アルゴリズムの特性も
見えたぞ！

弱点は
そこだな！



ナビイ、
この整理したデータで
要約とグラフを作って

ガッテン
シヨウキ！



リヨウカイです！
サイコウのパートナー
シップで、ジヨウホウを
チカラにカエテ！



混乱した情報が、
正しく整理された！

4つのスキルアイテムがもりもりの
情報活用能力を覚醒させた



ドカーン！

そのまま使わずに、
間違いないか確認。
自分の考えも入れて
完成させるぞ！

伝えたい相手を意識。
デジタルとアナログを
組み合わせるわかり
やすい表現アタックだ！

【もりもりオリジナルのスキルコンボ】
デジタル×アナログ
アタックフォーム







デジタルの良さも生かし
ながらも、一番大切なのは、
『自分で考え、
よりよい判断をする』ことだ！



デジタル技術は
これからどんどん
進化していく。



さあ、次は
どんな探究の旅が
待っているかな？



パチン！

Aーとも手を取り合って、
主体的に未来を
ひらいていこう！



4つのスキルアイテムを
使いこなせば、これからの
冒険もバッチリだね！



みんなも
ステップシートで
スキルチェック
してみよう！



No		分類	スキル	STEP 1（１・２年）	熟練度 ☆をぬろう	STEP 2（３・４年）	熟練度 ☆をぬろう	STEP 3（５・６年）	熟練度 ☆をぬろう	STEP 4（中学生）	熟練度 ☆をぬろう
			めあて	「使ってみる・慣れる」 ー 写真をとったり文字を入力したり、きまりを守ったりして、デジタルツールの使い方に慣れよう	★＝がんばりたい ★★＝できた ★★★＝バッチリ	「集めて、比べる」 ー 自分で情報を集めて比べたり、いろいろなデジタルツールやそのしくみに触れよう	★＝がんばりたい ★★＝できた ★★★＝バッチリ	「整理して、伝える」 ー 集めた情報を整理して、正しさや偏りも考えながら、相手に伝えられるようになろう	★＝がんばりたい ★★＝できた ★★★＝バッチリ	「判断して、活かす」 ー 情報が正しいか自分で判断し、しくみも理解しながら、社会の中で責任をもって使えるようになろう	★＝がんばりたい ★★＝できた ★★★＝バッチリ
① 情報技術の活用（デジタルを使う基本の力）											
A		ICTの基本的な操作	課題を見つける	自分のことや身の回りの出来事から、疑問を持てる	☆☆☆	地域の出来事について、課題を考えられる	☆☆☆	日本や世界の出来事について、課題を考えられる	☆☆☆	複雑な社会課題について、いろいろな見方で課題を考えられる	☆☆☆
B			情報を集める	・本やインタビュー、観察、インターネットなどで情報を集め、絵や言葉で記録できる ・図書館のきまりを守って利用できる	☆☆☆	・複数の方法（本・インターネット・インタビュー・実験・見学など）を組み合わせて情報を集め、記録できる ・図書館の本の分類や資料の使い方がわかる ・信頼できる情報源を選んだり、情報の出どころなどを確認できる	☆☆☆	・調査の方法を選び、情報を適切に集めて確かめられる ・日本十進分類法などを理解し、目的に応じて図書館・博物館などを利用できる ・複数の情報源について、出典などを記録しながら集められる	☆☆☆	・統計なども使って、必要な情報を考えながら調査を計画・実施できる ・複数の資料やメディアを比較しながら、課題解決に各種施設を活用できる ・情報やメディアの特性をふまえ、目的に応じた方法で効果的に集められる	☆☆☆
C			整理して考える	・絵や図・表・グラフ・思考ツールなどを使って情報を整理できる ・情報どうしの共通点やちがひ、順序に気づける	☆☆☆	・カードや図・表・グラフなど(思考ツール含む)で情報を整理できる ・複数の情報を比べて傾向や共通点・相違点を見つけられる ・全体と中心など、情報と情報の関係を捉えられる	☆☆☆	・複数の図・表・グラフなど(思考ツール含む)を比較しながら、情報を整理できる ・原因と結果など、情報と情報のつながりを考えられる ・集めた情報について論理的に考察できる	☆☆☆	・目的に応じて図・表・グラフなど(思考ツール含む)を使い分けながら、複数のデータを統計的に整理・分析できる ・意見と根拠、具体と抽象などのつながりを考えられる ・集めた資料をいろいろな角度から考え、新しい意味を見つけられる	☆☆☆
D			まとめて伝える	・伝えたいことを一つ決めて表そうとする ・わかったことを簡単な言葉でまとめられる ・絵や写真、音声、文字などを使って自分なりに表現できる	☆☆☆	・伝えたいことを整理して、理由やわけも伝えることができる ・複数の情報を比較し、関連付けて、新しい発見をまとめられる ・相手を意識して、新聞やポスター、リーフレット、スライドなどの伝え方を選ぶ	☆☆☆	・伝えたい主題を明確にし、理由や根拠を示しながら筋立てて説明できる ・複数のソフトを使い分けて、報告文やポスターセッションで表現できる	☆☆☆	・根拠に基づいて論理的に説明できる ・わかったことや自分の考えをまとめ、表現できる ・相手や目的に応じて、Webサイトなども含めた効果的で創造的な表現方法を選ぶ	☆☆☆
E			振り返る	・振り返って感想を言える ・写真や記録を見返して、自分の成長に気づける	☆☆☆	振り返って、改善点を見つけられる	☆☆☆	・振り返って、効果や工夫した点に気づける ・新しくできるようになった操作や工夫に気づける	☆☆☆	・観点を決めて評価し、改善できる ・身につけた力を自覚し、言葉で説明できる ・次の学習や生活にどう生かすか考えられる	☆☆☆
F			入力する	起動・終了、写真撮影、音声・ひらがな入力などの基本操作ができる	☆☆☆	・キーボードで漢字を含む文章を1分間に20文字程度入力できる（または別の方法で同程度の文章入力ができる） ・ホームポジションを意識しながら入力しようとする	☆☆☆	・1分間に60文字程度入力でき、状況に合った入力方法を選ぶ ・コピー・貼り付け・元に戻すなど、よく使うショートカットキーを使う	☆☆☆	・1分間に100文字程度入力でき、状況に合った入力方法を選ぶ ・自分がよく使うショートカットを見つけて使い、効率よく入力・作業できる	☆☆☆
G		アプリを使う	ブラウザやカメラなど基本のアプリを使う	☆☆☆	文書作成、表計算、スライド、アンケートアプリなどを使う	☆☆☆	目的に応じて録画・録音、動画編集なども選んで使える	☆☆☆	複数のアプリを組み合わせて使える	☆☆☆	
H			検索する	インターネットの情報を見られる	☆☆☆	・キーワードで検索できる ・AI検索とWebサイトの情報は違うことがあると知る	☆☆☆	・複数のキーワードで検索できる ・AI検索は、間違っていたり古い情報が含まれていたりすることがあると理解する	☆☆☆	目的に応じて、キーワード検索・AI検索などを適切に使い分けられる	☆☆☆
I			データを保存する	・写真・ファイルの呼び出しや保存ができる ・データに名前や日付をつけて整理できる	☆☆☆	クラウドでファイルの検索・共有・共同編集ができる	☆☆☆	クラウドでファイルやフォルダを管理できる	☆☆☆	フォルダを規則的に作ったり、圧縮やパスワード設定などの管理ができる	☆☆☆
J			端末を設定する	画面の明るさや音量を変えると見え方・聞こえ方が変わることに気づく	☆☆☆	文字の大きさや音声読み上げなどの設定を試して、自分に合った設定を選ぶ	☆☆☆	自分に合った設定を選び、相手や目的に応じて伝え方や設定を工夫できる	☆☆☆	場面に応じて、スクリーンリーダーや字幕、拡大表示などの支援機能を適切に選んで設定できる	☆☆☆
② 情報技術の適切な取扱い（正しく安全に使う力）											
K		法や制度	ルールや権利、個人情報を守る	・写真や作品、名前などをとったり伝えたりするときは、相手に許可をもらうなど、きまりがあることを知る ・名前や住所など、人に勝手に伝えてはいけない個人情報がある	☆☆☆	・他人の情報を使うときは引用・出典を書く必要があることを知る ・個人情報や安易に提供しないことの大切さがわかる ・デジタルには作った人の権利があることを知る	☆☆☆	・著作権・肖像権・個人情報など、権利の種類と大切さを理解できる ・身近な場面でどの権利が関係するか説明できる	☆☆☆	・権利や法・制度が情報社会に与える影響を説明できる ・法や制度は権利を守るだけでなく、新しい表現やサービスを生み出す土台にもなることを理解する ・生成AIが作った文章や画像の利用ルールを確認し、説明できる	☆☆☆
L		倫理	マナーを守り、責任をもって使う	友だちが困ることやいやな思いをすることを考え、他の人の端末や情報をていねいに使うとする	☆☆☆	・共同編集で相手が困らない使い方を心がける ・公開や書き込みが与える影響を考える ・むやみに送る・見せる・公開すると、相手を傷つけることがある	☆☆☆	・場に応じたマナーを守り、責任ある使い方ができる ・公開・拡散する前に社会への影響を考えられる	☆☆☆	・責任をもって適切に判断・行動できる ・誤情報や偽った内容を拡散しない、安易に公開しないなど、社会への影響を考えて行動できる ・情報や情報技術を、よりよい社会をつくるために責任をもって生かそうとする	☆☆☆
M		安全	情報を安全に扱い、正しさを確かめる（セキュリティ）	・ルールを守って端末を正しく使える ・IDやパスワードをむやみに人に教えない ・正しくない情報があることを知る	☆☆☆	・パスワードの管理や共有範囲の確認ができる ・あやしいサイトやメッセージ、正しくない情報に気をつけられる	☆☆☆	・セキュリティソフトやフィルタリングを使う ・共有する範囲を確認し、うっかり公開しないようにできる ・複数の情報源を比べて確かめてから使える	☆☆☆	・セキュリティ対策を自分で確認し実施できる ・目的に応じてアプリやサービスを選び、安全に利用できる ・多様なメディアを比較し信頼性を吟味して判断できる	☆☆☆
N		安全	心と体の健康に気をつけて使う	・正しい姿勢で端末を使う ・むやみに長く使すぎない ・端末を丁寧に扱う	☆☆☆	端末の利用時間や使い方を振り返り、健康への影響を知って、付き合い方を考えられる	☆☆☆	サービスには興味を引くしくみがあることに気づき、スクリーンタイムなどの機能も活用し、健康的な生活のための使い方を見直そうとする	☆☆☆	健康への影響を理解し、便利さと健康のバランスを考えたルールを主体的に決めて実行できる	☆☆☆
③ 情報技術の特性の理解（しくみや特性を知る力）											
O		コンピュータ・AIのしくみ	コンピュータのしくみ	タブレットや家電のボタンを押すと、いつも同じように動くことに気づく	☆☆☆	身近な生活の中でコンピュータやAIが使われていることに気づき、デジタルの情報はコピーしても中身が変わらないことを知る	☆☆☆	・インターネットのしくみを、身近な例（検索・動画視聴・クラウド共同編集など）から理解できる ・コンピュータが「入力→処理→出力」という順番で情報を扱う	☆☆☆	・アナログの情報をデジタルデータに変えるしくみ（数値化・符号化）やコンピュータの基本構成を理解できる ・コンピュータ・ネットワーク・AIが組み合わさって動くしくみを理解でき	☆☆☆
P			AI（人工知能）	お掃除ロボットや音声検索など、身近な道具にAIが使われていることに気づく	☆☆☆	スマホの顔認証や写真の整理など、アプリの中でAIが判断していることに気づく	☆☆☆	AIが大量のデータから学んだ「傾向」をもとに予測・生成していることを理解し、出力に誤りや偏りがあることも理解する	☆☆☆	AIのしくみや誤り・偏りの特性を理解したうえで、人との役割分担や社会への影響を考えられる	☆☆☆
Q		情報デザインの特性	アルゴリズム・プログラミング	着替えや朝の準備のように、物事はいくつかの手順に分けられることに気づく	☆☆☆	・おすすめや並び順が自分の使い方によって変わること気づく ・手順を考えて図にしたり、動きを分けたり組み合わせたりして簡単なプログラムを作れる	☆☆☆	・フィルターバブルやエコーチェンバーが起こるしくみを理解する ・図を使って条件によって変わる手順を表し、工夫してプログラムを作る	☆☆☆	・アルゴリズムが利用時間を増やすように働くこと（アテンションエコノミー）を理解し、自分の利用行動をコントロールしようとする ・課題を見つけて処理の流れを図で表し、みんなで協力しながらプログラムを作る	☆☆☆
R		デザイン（伝える工夫）	絵をかいたり写真をとったりするとき、見やすくなるように色や大きさを工夫する	☆☆☆	見やすく伝わるように、配置や色、文字の大きさを工夫して表現できる	☆☆☆	目的や相手を意識して、わかりやすく伝わる資料をデザインできる	☆☆☆	見やすさ・わかりやすさを考えたデザインの基本を理解し、相手を意識して工夫・改善できる	☆☆☆	
S		データの扱い	・写真や作品のデータは残したり、共有したりできることに気づく ・保存したデータが自分だけのものとは限らないことを知る	☆☆☆	・クラウドではコピーや共有がしやすく、一度共有すると広がりやすいことを理解する ・データには種類があり、特徴に応じた扱いがあることを知る ・共有リンクや相手の選び方で、見える人が変わることを理解する	☆☆☆	・共有の範囲や公開・非公開の違いを理解できる ・データの種類や目的に応じて、表やグラフに可視化できる ・特性（広がり・権限）を理解し、共有・整理の選び方を説明できる	☆☆☆	・データのしくみを理解し、権限設定や暗号化なども含めて適切に扱う・集めたデータと他の情報を比べて、多角的に活用できる	☆☆☆	
T		情報と社会のつながり	コミュニケーションやメディア	自分の好きなものを友だちに伝える中で、伝え方によって伝わり方が違うことに気づく	☆☆☆	文字・画像・音はコンピュータで組み合わせたり加工したりできることがわかる	☆☆☆	画像・動画・音声を編集する方法を知り、伝え方によって印象が変わることを考えられる	☆☆☆	・フィルターバブルやエコーチェンバーが意見形成に影響することを理解する ・メディアが民主主義社会で果たす役割を理解する	☆☆☆
U		社会での役割	自動運転車やテレビ電話など、身近な例からデジタルの便利さを感じる	☆☆☆	情報技術が社会のしくみ（お店のレジ、交通機関など）を支えていることがわかる	☆☆☆	身近な情報技術が社会でどんな役割を果たしているか考えられる	☆☆☆	情報技術が社会を変える意義（DX）や、持続可能な社会（SDGs）への貢献、情報セキュリティの大切さを理解できる	☆☆☆	

※ここで示しているスキルは例であると同時にお互いに関わり合っています。（②正しく安全に使う力や③しくみ・特性を知る力が高まると、①デジタルをよりよく活用できるようになっていきます。組み合わせてよりよく使ったり、例にないスキルも気づいたらどんどん書き込んでみてください！）

マンガでわかる！『探究サイクル スキルブック』

もりもりの探究冒険記⑤

～覚醒！4つのデジタルスキルと情報ダンジョン～



マンガでわかる
シリーズ版もりもり

冒険の主人公：もりもり
守口市教育委員会イメージキャラクター

MIRIMORI BOOKS

定価：本体0円

「デジタルをどれくらい上手に使えているんだろう？」

調べたり、まとめたり、友だちと考えを共有したり——。これまでを振り返ると、もりもりは、デジタルでできることが少しずつ増えていることに気づく。けれど、ただ使えるだけではなく、もっと上手に、もっと安全に、もっと賢く使いこなせるようになりたい。そんなとき、もりもりは「探究マップ」に載っている、まだ手に入っていないスキルアイテムに目を向ける。

今回の目的地は、『情報ダンジョン』。そこには、デジタルを使う基本の力、正しく安全に扱う力、特性やしぐみを知る力など、4つのデジタルスキルに関わるアイテムが眠っているという。

もりもりは、アイテムを手し、情報ダンジョンを進みながら、さまざまな試練に挑戦する。デジタルの特性やしぐみを知り、情報を適切に扱い、必要な情報を見極め、学びに生かしていく——。

ひとつ、またひとつとスキルアイテムを使うたびに、もりもりのデジタルスキルのレベルが上がっていく。

そして、ダンジョンの奥深くには、これまでの試練とは比べものにならない、何かが待ち受けていた……。

はたして、もりもりは4つのデジタルスキルを覚醒させ、最後の試練を乗り越えられるのか？

新たな冒険、『情報ダンジョン』攻略が、今、はじまる！



INFORMATION

詳細は『探究サイクルスキルブック』へ

＼詳細はコチラから／



完全版『探究サイクルスキルブック』は、守口市のみなさんのiPadのL-Gateにも配信しています。

守口市教育センターのホームページにも掲載していますので、そちらでもぜひご覧ください！

発行：守口市教育センター（令和8年9月）

制作：番匠 祐貴(教育センター 主任)

所在地：〒570-8666 守口市京阪本通2丁目5-5 TEL：06-6997-0703

WEB：<https://www.city.moriguchi.osaka.jp/kakukanoannai/moriguchicitykyoikucenter/index.html>

・本教材の著作権は、守口市教育センターが保有しています。

・本教材は、児童・生徒・保護者等への啓発・教育を目的として、無償で提供する場合に限り、自由に利用することができます。

※本教材は、Google Geminiをもとに作成しています。

探究の世界でエルフの姿に変身したもりもり
「なぜ？」「知りたい！」から広がる、
探究冒険ファンタジー第五幕！